

## GLASS 誌投稿・執筆規定（2023 年 12 月現在）

### 1. 原稿内容

論文、調査報告、研究ノート、資料紹介など、未発表のものに限る。

他に投稿中のものは受け付けない。

#### 原稿枚数

図表・註・英文要旨（300 語以内）も含め、GLASS 誌の頁数にして最長の場合でも 16 頁以内。編集の都合により短縮をお願いする場合もある。

（目安として、英文要旨を除き、文字だけの場合で約 25000 字以内）。

### 2. 投稿資格

本学会会員とする。ただし編集委員会が依頼した場合は別とする。

学生会員は加入後 1 年間は投稿できない。

### 3. 投稿スケジュール

投稿計画（日本語要約、およその字数、図表の点数）を 800 字程度にまとめ、遅くとも 7 月末までに提出すること（メール可）。

原稿の最終締切りは 10 月末日とし、その 11 月末日までに編集委員会より採否を通知する。

### 4. 審査・査読

編集委員会の審査および、論文の場合は査読を行い、掲載の可否を決定する。

査読は論文内容に応じて会員あるいは会員以外の研究者に委嘱して行う。

### 5. 執筆要項

#### ①書式（ワープロにて作成のこと）

著者名に所属はつけず、必要な場合は註、または\*をつけて最初の頁の下部に載せる。

（横書き、明朝体、1 ページを 44 字×39 行で組む（GLASS 誌 1 頁分に相当）。

各章・節の間は一行開ける。

各章の見出しはゴシック体、小見出しは明朝体。

キャプションのうち図版番号はゴシック体とする。

基本的に常用漢字、現代仮名使いとする。

註は右肩に通し番号で付ける。例：ガラス工芸<sup>1)</sup>（数字、括弧とも半角）

#### 註の記述例

例：1) 著者名「論文名」（『掲載誌名』〇〇号、出版社、出版年）、〇頁。

：2) 前掲註 1)、〇頁。

：3) 著者名『書籍名』（出版社、出版年）、〇頁。

洋書の場合、書名はイタリックとする。  
註を用いない場合、参考文献は末尾にまとめる。

## ②図表および写真

図版の掲載許可は執筆者が権利者から事前に取得すること。著作権の問題が生じた場合  
日本ガラス工芸学会は一切責任を負わない。

写真は JPEG 画像データで、できるだけ高精細なものを提出する。

(目安として) 解像度 350dpi 以上。サイズは載せたい実寸のサイズ (縦×横) 以上。

表はエクセルで作成のこと。

図表および写真のキャプションは本文とは別ファイルとして提出する。

写真レイアウトについて

希望がある場合は写真を組み込んだイメージファイルを別途提出することができるが、  
基本的には編集事務所の裁量による。

カラー写真は希望者が費用を支払うことにより、表紙裏、裏表紙裏の 2 頁に限り使用できるが、本文中には使用できない。費用は半ページで 10000 円プラス税。

カラー図版が多く本文内に挿入する必要がある場合は別途相談による。

## ③校正

著者校正は原則、再校までとする。

校正時の大幅な変更は認められないので、提出原稿は完全原稿とすること。

## ④英文要旨

英文要旨は 330 ワード以内、会誌の半頁以内に収まる分量とする。和文からの翻訳を希望する場合は別途料金が発生する。

## ⑤提出法

CD 等に下記のファイルを取録して、プリントアウトとともに締切までに下記編集委員会宛に送付すること。

- 1) 本文・註・参考文献
- 2) 図表
- 3) 図表キャプション
- 4) 英文タイトル・英文要旨
- 5) レイアウトイメージ (必要な場合)

メールで送付の場合はプリントアウトを別送のこと。メディアは返却しない。

## ⑥著者配布分

抜き刷りは作成せず、GLASS 誌本体を著者には 15 部まで無料で配布することができる。  
それ以上必要な場合は実費負担（一冊 1000 円）とする。

#### 6. その他

この規定に記載されていない事項については、編集委員会が判断する。

#### 編集委員会：

〒158-0095 東京都世田谷区瀬田 5-11-11 井上方 日本ガラス工芸学会事務局内

電話 03-3700-9145

glass@bp.iij4u.or.jp

以上